

令和7年度 学校評価自己評価表 三次市立栗屋小学校

経営目標		短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	自己評価		8月分析	8月改善方策	学校関係者評価を受けて	自己評価		1月分析	1月改善方策	学校関係者評価を受けて
中期経営目標	達成値				評価	1月								
						達成値				評価				
確かな学力	自らの考えを豊かに表現することができる児童を育てる。 【表現力】	教科書の内容を理解し、活用問題も解くことができる。 自分の考えを相手に伝えるように工夫して発表したり、書いたりすることができる。	① 個々の児童の躰きを分析し、組織的な指導・支援により、それぞれの課題解決を図る。 ② 三次版「授業モデル」や十日市中学校区オリジナルカリキュラムを基に、粟屋授業モデルを活用し授業改善を推進する。 ③ 読書ファイルの活用等を通して、読書活動の充実を図る。 ① かかわり合いながら学ぶ場、自分の考えを伝え合う場を確保し、主体的な学びを深め、表現力を高める。 ② 持続的な学びに繋がるよう、授業のまとめや振り返りを書かせる。 ③ 成果物出品により自己肯定感を高め、表現することへの自信と意欲を高める。	単元末テスト(算数科、国語科)で知識及び技能の学校平均の正答率70%以上、思考力・判断力・表現力等の学校平均の正答率50%以上。 学びの過程や振り返りを具体的に分かりやすくノート等に行っている児童90%以上。また、成果物を3回以上作品応募に出品。										
豊かな心と健やかな体	他者の気持ちを想像し、自分とお気持ちと折り合いをつけ、他者も自分も幸せにする行動が進んでできる児童を育てる。 【主体性】 【共感性】	非認知能力を育てる。 基本的生活習慣の確立と体力向上を図る。	① 互いに認め合い、助け合う集団づくりを進める。 ② 挨拶、時間、当番活動等への責任感を高め、評価する。 ① 生活習慣調査を定期的に行い、保護者と情報共有して課題の改善を図る。 ② 児童の運動への意欲向上につながる体育科授業改善や体育的行事、全校での体力づくりの取組を計画的に行い、体力向上を図る。	挨拶、時間の意識、当番活動、自分や他者のよさ・頑張りを認め合って周りに積極的に関わる児童を90%以上にする。(アンケート) 体力向上自己目標を設定(体力テスト、持久走、縄跳び等)し、自己目標を達成した児童を90%以上にする。										
信頼される学校	児童・保護者・地域から信頼される学校経営を行う。	教職員の授業力向上を図る。	① 年2回以上研究授業を行う。 ② 校外研修や研究会に2回以上参加し、校内研修や授業改善に活かす。	職員の校内研修満足度を100%にする。										
	児童が安心・安全に生活できる学校環境の維持、向上を図る。	① ホームページや通信等で学校の取組を定期的に発信するとともに、細やかな家庭連携を行う。	児童の肯定的評価90%以上にする。											

評価／ A＝100%以上 B＝75%以上100%未満 C＝50%以上75%未満 D＝50%未満